

令和2年賃金構造基本統計調査の概況の訂正について

令和3年3月31日に公表した「令和2年賃金構造基本統計調査の概況」の数値に一部誤りがありました。お詫びして、以下のとおり訂正いたします。

なお、図（グラフ）の訂正については正誤表に掲載しておりません。あらかじめご了承ください。

「政府統計の総合窓口」（e-Stat）に掲載されている集計結果は、5月21日に訂正後のものに差し替え予定です。

正 誤 表

1頁 1 一般労働者の賃金 (1) 賃金の推移

賃金は、男女計 307.7 千円、男性 338.8 千円、女性 251.9 千円となっている。
男女間賃金格差（男=100）は、74.4 となっている。

<誤>	<正>
251.9	251.8
74.4	74.3

第1表 性別賃金、対前年増減率及び男女間賃金格差、対前年差の推移

年 ¹⁾	男女計		男		女		男女間賃金格差 (男=100)	対前年差 ²⁾ (ポイント)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)		
平成 13 (2001) 年	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8	65.3	-0.2
14 (2002)	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5	66.5	1.2
15 (2003)	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3	66.8	0.3
16 (2004)	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6	67.6	0.8
17 (2005)	302.0	0.1	337.8	1.2	222.5	-1.4	65.9	-1.7
18 (2006)	301.8	-0.1	337.7	0.0	222.6	0.0	65.9	0.0
19 (2007)	301.1	-0.2	336.7	-0.3	225.2	1.2	66.9	1.0
20 (2008)	299.1	-0.7	333.7	-0.9	226.1	0.4	67.8	0.9
21 (2009)	294.5	-1.5	326.8	-2.1	228.0	0.8	69.8	2.0
22 (2010)	296.2	0.6	328.3	0.5	227.6	-0.2	69.3	-0.5
23 (2011)	296.8	0.2	328.3	0.0	231.9	1.9	70.6	1.3
24 (2012)	297.7	0.3	329.0	0.2	233.1	0.5	70.9	0.3
25 (2013)	295.7	-0.7	326.0	-0.9	232.6	-0.2	71.3	0.4
26 (2014)	299.6	1.3	329.6	1.1	238.0	2.3	72.2	0.9
27 (2015)	304.0	1.5	335.1	1.7	242.0	1.7	72.2	0.0
28 (2016)	304.0	0.0	335.2	0.0	244.6	1.1	73.0	0.8
29 (2017)	304.3	0.1	335.5	0.1	246.1	0.6	73.4	0.4
30 (2018)	306.2	0.6	337.6	0.6	247.5	0.6	73.3	-0.1
令和 元 (2019)	307.7	0.5	338.0	0.1	251.0	1.4	74.3	1.0
※令和 元 (2019) 年 ²⁾	306.0	...	336.1	...	249.8	...	74.3	...
2 ²⁾ (2020)	307.7	0.6	338.8	0.8	251.8 251.9	0.8	74.3 74.4	0.0 0.1

注： 1) 平成30年以前は、調査対象産業「宿泊業、飲食サービス業」のうち「バー、キャバレー、ナイトクラブ」を除外している。

2) 令和2年より推計方法を変更しているため、令和2年の対前年増減率及び対前年差(ポイント)は、同じ推計方法で集計した令和元年の数値を基に算出している。詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

※令和元(2019)年は、令和2年と同じ推計方法で集計した令和元年の数値を参考として掲載したものである。

2頁 (2) 性別にみた賃金

男女別に賃金カーブをみると、男性では、年齢階級が高いほど賃金も高く、55～59歳で420.1千円（20～24歳の賃金を100とすると195.8）と賃金がピークとなり、その後下降している。女性では、50～54歳の274.7千円（同131.2）がピークとなっているが、男性に比べ賃金の上昇が緩やかとなっている。

<誤> <正>
131.2 131.3

第2表 性、年齢階級別賃金及び年齢階級間賃金格差

令和2年

年齢階級	男女計			男			女						
	賃金 (千円)	対前年 増減率 ¹⁾ (%)	年齢階級間賃金 格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ¹⁾ (%)	年齢階級間賃金 格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ¹⁾ (%)	年齢階級間賃金 格差 (20～24歳 =100)				
年齢計	307.7	0.6	145.1	338.8	0.8	157.9	251.8	251.9	0.8	120.4	120.3		
～19歳	179.6	0.1	84.7	183.2	-0.1	85.4	173.7	0.5	83.0				
20～24	212.0	212.1	0.3	0.4	100.0	214.6	0.2	100.0	209.2	209.4	0.5	0.6	100.0
25～29	244.6	0.4	115.4	115.3	252.6	0.4	117.7	233.4	0.5	111.6	111.5		
30～34	274.4	-0.3	129.4	289.2	-0.4	134.8	246.8	0.0	118.0	117.9			
35～39	305.2	0.2	144.0	143.9	328.3	0.3	153.0	258.5	1.1	123.6	123.4		
40～44	329.8	0.4	155.6	155.5	360.7	0.6	168.1	268.3	0.3	128.3	128.1		
45～49	347.4	-0.3	163.9	163.8	387.9	-0.1	180.8	271.1	0.4	129.6	129.5		
50～54	368.0	-0.4	173.6	173.5	419.6	0.2	195.5	274.7	0.4	131.3	131.2		
55～59	368.6	1.3	173.9	173.8	420.1	1.9	195.8	271.1	2.4	129.6	129.5		
60～64	289.3	2.8	136.5	136.4	314.3	3.4	146.5	232.0	2.2	110.9	110.8		
65～69	257.4	4.0	121.4	275.0	5.8	128.1	215.5	1.7	103.0	102.9			
70～	247.9	5.8	116.9	260.5	7.3	121.4	217.3	3.2	103.9	103.8			
年齢(歳)	43.2			43.8			42.0						
勤続年数(年)	11.9			13.4			9.3						

注：1) 対前年増減率は、令和2年と同じ推計方法で集計した令和元年の数値を基に算出している。詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

3頁 (3) 学歴別にみた賃金

学歴別に賃金をみると、男性では、大学院465.2千円、大学391.9千円、高専・短大345.5千円、専門学校309.3千円、高校295.0千円となっている。女性では、大学院404.3千円、大学288.3千円、高専・短大258.1千円、専門学校263.4千円、高校218.0千円となっている。

<誤> <正>
258.1 258.0

第3表 学歴、性、年齢階級別賃金及び年齢階級間賃金格差

令和2年

性、年齢階級	大学院 ¹⁾		大学 ¹⁾		高専・短大 ¹⁾		専門学校 ¹⁾		高校 ¹⁾	
	賃金 (千円)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	465.2	184.4	391.9	171.1	345.5	161.7	309.3	144.9	295.0	144.4
～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	182.4	89.3
20～24	252.3	100.0	229.1	100.0	213.7	100.0	213.4	100.0	204.3	100.0
25～29	282.0	111.8	266.1	116.2	249.1	116.6	241.2	113.0	233.1	114.1
30～34	337.8	133.9	313.9	137.0	281.6	131.8	274.2	128.5	258.7	126.6
35～39	435.9	172.8	365.2	159.4	325.7	152.4	299.8	140.5	285.2	139.6
40～44	498.9	197.7	416.4	181.8	359.8	168.4	319.8	149.9	311.4	152.4
45～49	560.3	222.1	461.5	201.4	390.9	182.9	351.4	164.7	333.3	163.1
50～54	636.5	252.3	526.6	229.9	439.9	205.8	376.2	176.3	345.4	169.1
55～59	714.9	283.4	516.5	225.4	440.4	206.1	378.5	177.4	353.7	173.1
60～64	617.6	244.8	378.0	165.0	311.4	145.7	293.8	137.7	268.0	131.2
65～69	595.2	235.9	354.8	154.9	292.3	136.8	258.1	120.9	238.6	116.8
70～	* 737.6	292.4	370.2	161.6	247.3	115.7	221.6	103.8	221.3	108.3
年齢(歳)	41.1		42.7		43.3		41.6		45.1	
勤続年数(年)	11.4		13.2		14.7		11.9		14.6	
年齢計	404.3	166.2	288.3	127.3	258.0	258.1	126.0	126.2	263.4	121.7
～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	174.5	92.0
20～24	243.3	100.0	226.5	100.0	204.7	206.1	100.0	216.4	189.6	100.0
25～29	274.4	112.8	249.4	110.1	224.6	109.7	109.0	236.1	201.5	106.3
30～34	336.4	138.3	275.3	121.5	236.5	115.5	114.8	247.8	206.6	109.0
35～39	364.7	149.9	298.2	131.7	249.5	121.9	121.1	256.8	216.1	114.0
40～44	450.3	185.1	320.3	141.4	264.9	129.4	128.5	275.2	221.9	117.0
45～49	500.1	205.5	340.9	150.5	275.8	134.7	133.8	279.4	234.0	123.4
50～54	558.0	229.3	382.0	168.7	289.0	141.2	140.2	287.6	233.5	123.2
55～59	534.5	219.7	381.3	168.3	284.8	139.1	138.2	299.0	234.0	123.4
60～64	560.8	230.5	307.3	135.7	245.2	119.8	119.0	265.9	206.1	108.7
65～69	562.0	231.0	335.3	148.0	249.0	121.6	120.8	247.2	195.7	103.2
70～	* 808.6	332.3	311.7	137.6	283.7	138.6	137.7	258.6	205.8	108.5
年齢(歳)	40.0		36.2		43.2		42.1		45.2	
勤続年数(年)	7.8		7.5		11.0		8.9		10.5	

注：1) 令和2年より学歴区分を変更している。詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

4頁 (4) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に賃金をみると、男性では、大企業 377.1 千円、中企業 331.7 千円、小企業 302.4 千円、女性では、大企業 266.4 千円、中企業 253.2 千円、小企業 232.9 千円となっている。

<誤> <正>
 253.2 253.1

第4表 企業規模、性、年齢階級別賃金、企業規模間賃金格差及び年齢階級間賃金格差

性、年齢階級		大企業			中企業				小企業			
		賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	年齢階級間 賃金格差 ¹⁾ (20~24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金格差		賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金格差	
							企業規模間 賃金格差 ¹⁾ 【大企業=100】	年齢階級間 賃金格差 ¹⁾ (20~24歳 =100)			企業規模間 賃金格差 ¹⁾ 【大企業=100】	年齢階級間 賃金格差 ¹⁾ (20~24歳 =100)
男	年齢計	377.1	0.2	169.6	331.7	2.3	88.0 (85.0)	156.8	302.4	0.8	80.2 (78.1)	145.7
	～19歳	184.6	-0.6	83.0	183.3	1.5	99.3 (96.9)	86.6	181.1	-1.7	98.1 (98.3)	87.2
	20～24	222.3	0.4	100.0	211.6	0.4	95.2 (94.9)	100.0	207.6	0.1	93.4 (92.7)	100.0
	25～29	266.6	0.5	119.9	248.2	1.6	93.1 (91.4)	117.3	236.7	-0.9	88.8 (89.1)	114.0
	30～34	313.8	-0.7	141.2	281.8	1.1	89.8 (87.2)	133.2	266.2	-1.3	84.8 (83.7)	128.2
	35～39	363.8	0.0	163.7	321.1	2.3	88.3 (85.1)	151.7	294.3	-1.2	80.9 (80.3)	141.8
	40～44	403.5	0.4	181.5	354.0	2.3	87.7 (84.6)	167.3	319.8	-0.5	79.3 (78.3)	154.0
	45～49	437.0	-0.8	196.6	379.7	1.0	86.9 (84.1)	179.4	340.9	1.0	78.0 (75.2)	164.2
	50～54	485.4	-0.5	218.4	408.7	2.3	84.2 (80.9)	193.1	347.6	1.0	71.6 (69.3)	167.4
	55～59	478.2	0.7	215.1	419.6	4.6	87.7 (83.8)	198.3	349.1	1.6	73.0 (70.6)	168.2
	60～64	330.0	5.3	148.4	314.6	2.2	95.3 (96.6)	148.7	301.2	3.3	91.3 (90.6)	145.1
	65～69	285.2	3.2	128.3	280.4	5.6	98.3 (93.0)	132.5	267.7	7.4	93.9 (86.2)	128.9
	70～	281.2	11.7	126.5	275.1	10.1	97.8 (96.1)	130.0	249.1	4.8	88.6 (89.0)	120.0
年齢(歳)	42.9			43.2				45.6				
勤続年数(年)	15.1			13.0				11.8				
女	年齢計	266.4	-0.4	121.6	253.1	2.1	95.0 (91.6)	121.7	232.9	1.0	87.4 (84.4)	118.0
	～19歳	175.3	-0.5	80.0	173.0	0.8	98.7 (96.8)	83.2	173.3	1.4	98.9 (96.9)	87.8
	20～24	219.0	0.5	100.0	207.9	0.7	94.9	100.0	197.3	0.6	90.1 (89.4)	100.0
	25～29	244.9	-0.1	111.8	233.8	1.8	95.5 (93.2)	112.5	216.3	0.5	88.3 (86.8)	109.6
	30～34	264.4	-0.3	120.7	244.8	0.9	92.6 (90.4)	117.7	226.9	0.1	85.8 (83.5)	115.0
	35～39	278.7	1.5	127.3	257.6	1.5	92.4 (90.8)	123.9	234.3	0.1	84.1 (83.3)	118.8
	40～44	289.0	-0.3	132.0	270.6	1.5	93.6 (90.5)	130.2	242.4	-0.1	83.9 (81.7)	122.9
	45～49	288.9	-1.8	131.9	273.3	2.1	94.6 (89.8)	131.5	247.1	1.0	85.5 (81.1)	125.2
	50～54	285.7	-4.6	130.5	282.2	3.8	98.8 (89.3)	135.7	252.2	2.6	88.3 (80.2)	127.8
	55～59	283.8	0.0	129.6	274.9	4.4	96.9 (91.7)	132.2	252.4	1.9	88.9 (84.6)	127.9
	60～64	237.0	1.6	108.2	234.2	1.9	98.8 (97.3)	112.7	225.7	3.3	95.2 (91.3)	114.4
	65～69	229.2	0.1	104.7	211.6	3.3	92.3 (87.0)	101.8	210.5	1.1	91.8 (87.4)	106.7
	70～	234.3	-0.3	107.0	212.3	11.9	90.6 (80.1)	102.1	212.3	-0.3	90.6 (89.4)	107.6
年齢(歳)	41.2			41.9				43.2				
勤続年数(年)	9.5			9.2				9.1				

注： 1) ()内は、令和元年の数値である。
 2) 対前年増減率は、令和2年と同じ推計方法で集計した令和元年の数値を基に算出している。詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

5頁 (5) 主な産業別にみた賃金

主な産業別に賃金をみると、男性では、「金融業、保険業」(479.2千円)が最も高く、次いで「教育、学習支援業」(429.4千円)となっており、「宿泊業、飲食サービス業」(278.2千円)が最も低くなっている。女性では、「情報通信業」(315.5千円)が最も高く、次いで「教育、学習支援業」(306.9千円)となっており、「宿泊業、飲食サービス業」(209.6千円)が最も低くなっている。

<誤> <正>
209.6 208.9

第5表 主な産業、性、年齢階級別賃金及び年齢階級間賃金格差

令和2年

性、年齢階級		建設業	製造業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	サービス業(他に分類されないもの)		
男	賃金(千円)	年齢計	345.5	321.8	405.0	285.3	285.4	346.1	479.2	420.9	278.2	300.7	429.4	354.5	283.5
	～19歳	197.3	180.9	187.2	187.9	178.1	174.6	183.7	175.8	187.6	169.3	179.3	178.9	178.9	
	20～24	221.7	203.2	227.5	222.2	214.4	233.3	227.7	203.1	203.4	217.9	223.6	210.8	210.8	
	25～29	256.8	256.7	236.4	266.6	246.0	246.1	252.6	293.9	283.3	248.0	278.8	264.6	235.0	
	30～34	292.0	267.8	267.9	326.7	271.9	283.6	385.3	341.4	254.6	281.4	337.1	300.2	266.4	
	35～39	334.1	307.1	374.0	289.7	325.9	483.5	412.1	281.6	313.2	379.4	331.4	286.4	286.4	
	40～44	369.8	338.1	427.9	302.1	369.9	578.6	462.6	308.7	333.3	436.0	355.0	308.9	308.9	
	45～49	402.1	369.3	489.9	306.8	402.6	606.6	484.7	484.6	323.1	356.7	473.9	388.7	320.7	
	50～54	424.0	407.0	519.3	307.8	446.3	636.1	547.0	324.2	358.3	510.3	461.1	335.3	335.2	
	55～59	427.2	416.4	561.1	308.1	439.5	551.7	525.0	310.1	343.7	532.7	488.0	323.4	323.4	
	60～64	356.7	290.6	414.1	247.5	298.2	351.3	386.3	272.5	275.4	488.4	420.3	257.9	257.9	
	65～69	298.1	247.4	334.8	219.0	263.1	357.5	341.6	239.5	210.0	433.7	452.6	228.4	228.4	
	70～	266.1	237.1	330.8	205.0	247.3	286.3	279.8	197.7	211.3	381.0	597.4	207.3	207.3	
	賃金(年齢計)の対前年増減率 ¹⁾ (%)	-0.5	1.2	0.9	-1.1	-1.1	3.3	1.5	-0.7	1.2	-2.5	4.9	0.0	0.0	
年齢(歳)	45.1	43.1	41.3	46.9	43.0	43.3	43.6	43.3	41.8	46.3	41.8	45.7	45.7		
勤続年数(年)	13.9	15.4	13.7	12.7	14.5	15.5	13.7	10.1	10.5	13.0	9.1	9.9	9.9		
女	年齢階級間賃金格差(20～24歳比100)	年齢計	155.8	158.4	178.0	128.4	161.4	205.4	184.8	137.0	147.8	197.1	158.5	134.5	
	～19歳	89.0	89.0	82.3	84.6	83.1	74.8	80.7	86.6	92.2	77.7	80.2	84.9		
	20～24	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	25～29	115.8	116.3	117.2	110.7	110.8	117.8	126.0	124.4	111.2	121.9	127.9	118.3	111.5	
	30～34	131.7	131.8	143.6	122.4	132.3	165.2	149.9	125.4	138.3	154.7	134.3	126.4	126.4	
	35～39	150.7	151.1	164.4	130.4	152.0	207.2	181.0	138.7	154.0	174.1	148.2	135.9	135.9	
	40～44	166.8	166.4	188.1	136.0	172.5	248.0	203.2	152.0	163.9	200.1	158.8	146.5	146.5	
	45～49	181.4	181.7	215.3	138.1	187.8	260.0	212.9	212.8	159.1	175.4	173.8	152.1	152.1	
	50～54	191.2	200.3	228.3	138.5	208.2	272.7	240.2	159.6	176.2	234.2	206.2	159.1	159.0	
	55～59	192.7	204.9	246.6	138.7	205.0	236.5	230.6	152.7	169.0	244.5	218.2	153.4	153.4	
	60～64	160.9	143.0	182.0	111.4	139.1	150.6	169.7	134.2	135.4	224.1	188.0	122.3	122.3	
	65～69	134.5	121.8	147.2	98.6	122.7	153.2	150.0	117.9	103.2	199.0	202.4	108.3	108.3	
	70～	120.0	116.7	145.4	92.3	115.3	122.7	122.9	97.3	103.9	174.9	267.2	98.3	98.3	
	賃金(千円)	年齢計	251.2	222.7	315.5	223.3	236.0	281.4	301.4	208.9	209.6	225.1	306.9	264.0	228.5
～19歳	178.4	173.1	157.3	176.0	168.9	168.6	177.4	170.1	181.0	169.2	180.1	180.1	179.8		
20～24	217.0	186.0	229.2	200.2	201.2	212.7	216.4	193.1	198.2	202.8	210.0	222.6	211.0		
25～29	237.9	206.0	264.5	219.5	226.3	237.3	265.6	207.3	222.6	235.6	243.7	224.6	224.6		
30～34	252.0	222.5	289.6	226.9	227.0	238.0	261.4	292.9	218.6	235.6	267.9	255.0	226.1		
35～39	249.0	232.4	310.2	234.9	248.9	287.6	328.7	226.4	237.8	295.7	261.2	240.8	240.8		
40～44	245.0	242.0	352.0	226.9	253.4	295.8	327.5	229.1	244.5	327.4	276.6	242.3	242.3		
45～49	273.0	247.1	352.9	231.5	253.7	307.7	332.6	220.1	242.0	345.0	280.4	238.2	238.2		
50～54	279.7	247.6	430.9	236.8	256.0	318.2	341.9	219.1	219.8	372.0	282.5	236.8	236.8		
55～59	266.8	229.8	458.4	225.7	242.7	307.5	326.0	206.1	244.2	399.0	288.8	233.8	233.8		
60～64	243.2	182.1	249.1	198.2	192.1	295.1	288.4	196.8	192.3	411.4	258.1	196.6	196.6		
65～69	203.8	173.6	229.2	190.3	188.0	331.9	235.6	172.9	180.6	412.7	238.1	180.4	180.4		
70～	183.7	174.3	232.0	171.1	193.8	359.3	279.3	162.4	165.5	342.7	249.9	174.6	174.6		
賃金(年齢計)の対前年増減率 ¹⁾ (%)	-1.7	2.8	1.1	-0.8	-2.0	0.0	-1.0	1.3	1.6	0.9	-1.4	0.7	0.7		
年齢(歳)	42.9	42.6	37.6	42.3	41.4	41.9	39.3	41.9	41.5	40.4	42.9	42.7	42.7		
勤続年数(年)	11.1	11.5	9.2	8.9	9.6	11.3	9.5	8.1	7.8	9.3	8.6	6.8	6.8		
年齢階級間賃金格差(20～24歳比100)	年齢計	115.8	119.7	137.7	111.5	117.3	132.3	139.3	108.2	105.8	111.0	146.1	118.6	108.3	
	～19歳	82.2	93.1	68.6	87.9	83.9	79.3	82.0	88.1	85.8	89.3	80.6	80.9	85.2	
	20～24	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	25～29	109.6	110.8	115.4	109.6	112.5	111.6	122.7	107.4	104.6	109.8	112.2	109.5	106.4	
	30～34	116.1	119.6	126.4	113.3	113.4	118.3	122.9	135.4	113.2	110.3	116.2	127.6	114.6	
	35～39	114.7	124.9	135.3	117.3	123.7	135.2	151.9	117.2	114.2	117.3	140.8	117.3	114.1	
	40～44	112.9	130.1	153.6	113.3	125.9	139.1	151.3	118.6	115.6	120.6	155.9	124.3	114.8	
	45～49	125.8	132.8	154.0	115.6	126.1	144.7	153.7	114.0	111.0	119.3	164.3	126.0	112.9	
	50～54	128.9	133.1	188.0	118.3	127.2	149.6	158.0	113.5	110.5	108.4	177.1	126.9	112.2	
	55～59	122.9	123.5	200.0	112.7	120.6	144.6	150.6	106.7	104.0	120.4	190.0	129.7	110.8	
	60～64	112.1	97.9	108.7	99.0	95.5	138.7	133.3	101.9	99.3	94.8	195.9	115.9	93.2	
	65～69	93.9	93.3	100.0	95.1	93.4	156.0	108.9	89.5	87.2	89.1	196.5	107.0	85.5	
	70～	84.7	93.7	101.2	85.5	96.3	168.9	129.1	84.1	81.9	81.6	163.2	112.3	82.7	

注：1) 対前年増減率は、令和2年と同じ推計方法で集計した令和元年の数値を基に算出している。詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

第6-1表 雇用形態、性、年齢階級別賃金及び雇用形態間賃金格差

令和2年

年齢階級	男女計					男					女								
	正社員・正職員		正社員・正職員以外			正社員・正職員		正社員・正職員以外			正社員・正職員		正社員・正職員以外						
	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	雇用形態間 賃金格差 ¹⁾ 【正社員・正職員=100】	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	雇用形態間 賃金格差 ¹⁾ 【正社員・正職員=100】	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	雇用形態間 賃金格差 ¹⁾ 【正社員・正職員 =100】				
年齢計	324.2	0.0	214.8	2.5	66.3 (64.9)	350.7	0.3	240.2	3.4	68.5 (66.8)	269.2	0.2	193.3	2.4	71.8 (70.2)				
～19歳	180.2	-0.3	174.1	3.3	96.6 (93.2)	182.8	-0.7	188.0	6.9	102.8 (94.6)	175.8	0.6	158.4	-1.2	90.1 (92.8)				
20～24	215.4	215.5	0.1	0.2	183.4	1.4	85.1 (84.2)	217.3	-0.1	86.4 (85.6)	213.3	213.5	0.4	0.5	179.7	1.1	84.2 (83.2)		
25～29	249.6	0.0	202.4	2.6	81.1 (79.7)	256.2	0.0	210.0	1.7	82.0 (81.8)	239.5	-0.2	196.5	3.7	82.0 (79.1)				
30～34	282.8	-0.6	207.2	1.3	73.3 (71.9)	294.6	-0.5	222.6	1.0	75.6 (74.7)	258.1	-0.5	195.1	1.8	75.6 (73.5)				
35～39	316.3	-0.2	214.3	4.0	67.8 (65.5)	334.7	-0.1	235.3	5.2	70.3 (67.4)	272.9	0.5	200.6	3.4	73.5 (71.7)				
40～44	343.5	0.0	211.9	2.1	61.7 (60.5)	367.6	0.2	240.6	4.7	65.5 (62.8)	286.5	-0.3	196.6	0.9	68.6 (67.8)				
45～49	365.6	-0.6	212.8	2.5	58.2 (56.4)	396.3	-0.3	245.6	2.2	62.0 (60.2)	293.9	-0.3	198.5	3.1	67.5 (65.3)				
50～54	392.2	-0.8	209.7	2.0	53.5 (51.8)	431.2	0.0	242.6	242.4	1.3	1.2	56.3	56.2	(55.2)	302.6	-0.9	195.6	3.1	64.6 (62.2)
55～59	397.0	0.9	212.2	4.1	53.5 (51.9)	435.3	1.4	252.1	6.9	57.9 (55.1)	303.6	1.6	190.5	3.4	62.7 (61.8)				
60～64	328.0	1.9	241.2	241.3	2.6	73.5	73.6	(73.2)	350.0	2.8	266.7	266.8	3.1	3.2	272.0	0.7	190.0	1.3	69.9 (69.0)
65～69	295.9	4.4	216.8	0.7	73.3 (75.6)	309.7	6.3	234.7	2.2	75.8 (78.1)	257.0	0.0	180.9	1.1	70.4 (69.7)				
70～	283.1	4.9	208.9	7.3	73.8 (71.3)	293.6	7.6	222.0	8.1	75.6 (74.4)	255.5	-1.6	179.6	5.3	70.3 (64.4)				
年齢(歳)	42.2		48.8			42.9		51.1			40.6		46.9						
勤続年数(年)	12.5		8.7			13.8		10.3			9.8		7.4						

注： 1) () 内は、令和元年の数値である。
2) 対前年増減率は、令和2年と同じ推計方法で集計した令和元年の数値を基に算出している。詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

第6-2表 雇用形態、性、企業規模別賃金及び雇用形態間賃金格差

令和2年

企業規模	男女計					男					女						
	正社員・正職員		正社員・正職員以外			正社員・正職員		正社員・正職員以外			正社員・正職員		正社員・正職員以外				
	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	雇用形態間 賃金格差 ¹⁾ 【正社員・正職員=100】	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	雇用形態間 賃金格差 ¹⁾ 【正社員・正職員 =100】	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	雇用形態間 賃金格差 ¹⁾ 【正社員・正職員 =100】		
大企業	365.4	-0.9	220.9	3.7	60.5 (58.4)	395.7	-0.4	246.7	4.3	62.3 (60.3)	294.8	-1.3	201.1	4.2	68.2 (64.6)		
中企業	318.2	318.3	1.3	213.7	2.2	67.2	67.1	(67.0)	343.5	1.6	238.9	3.5	69.5 (68.8)	269.9	270.0	1.6	70.7 (70.6)
小企業	287.1	0.7	204.4	0.7	71.2 (71.6)	308.7	0.8	230.6	1.5	74.7 (74.6)	243.1	1.1	180.2	-0.3	74.1 (75.7)		

注： 1) () 内は、令和元年の数値である。
2) 対前年増減率は、令和2年と同じ推計方法で集計した令和元年の数値を基に算出している。詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

第6-3表 雇用形態、性、主な産業別賃金及び雇用形態間賃金格差

令和2年

主な産業	男女計					男					女												
	正社員・正職員		正社員・正職員以外			正社員・正職員		正社員・正職員以外			正社員・正職員		正社員・正職員以外										
	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	雇用形態間 賃金格差 ¹⁾ 【正社員・正職員=100】	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	雇用形態間 賃金格差 ¹⁾ 【正社員・正職員 =100】	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	雇用形態間 賃金格差 ¹⁾ 【正社員・正職員 =100】								
建設業	337.2	-1.1	286.5	5.8	85.0 (79.1)	348.9	-1.0	300.6	5.8	86.2 (80.4)	255.0	-2.4	215.4	9.2	84.5 (76.5)								
製造業	313.1	1.0	201.1	1.8	64.2 (64.5)	331.0	0.6	228.5	3.3	69.0 (68.0)	241.5	2.9	171.8	-0.1	71.1 (73.8)								
情報通信業	389.4	0.5	300.0	5.3	77.0 (73.0)	407.5	0.4	358.9	10.2	88.1 (79.1)	328.5	1.2	235.9	-0.9	71.8 (74.0)								
運輸業、郵便業	286.9	-1.6	204.9	205.0	1.0	1.1	71.4	71.5	(69.0)	292.8	-1.7	216.3	1.9	73.9 (70.7)	241.1	-0.6	184.2	1.8	76.4 (74.2)				
卸売業、小売業	333.2	-0.9	194.8	-1.9	58.5 (59.6)	360.0	-1.1	221.8	-2.8	61.6 (63.7)	264.6	-0.8	179.6	0.5	67.9 (67.1)								
金融業、保険業	386.0	2.4	247.9	5.5	64.2 (62.7)	489.8	3.1	316.5	6.8	64.6 (63.0)	289.4	-0.2	211.5	4.8	73.1 (69.8)								
学術研究、専門・技術サービス業	396.8	0.6	300.7	1.4	75.8 (75.3)	426.2	1.3	350.3	1.7	82.2 (82.2)	312.3	-1.9	237.2	2.5	76.0 (73.3)								
宿泊業、飲食サービス業	269.3	269.7	-1.2	-1.0	189.4	-0.7	70.3	70.2	(70.3)	290.4	-2.3	208.7	0.5	71.9 (70.2)	227.0	228.1	0.8	1.3	177.5	-1.5	78.2	77.8	(79.8)
生活関連サービス業、娯楽業	287.8	0.1	190.4	-1.9	66.2 (67.7)	317.7	-0.5	203.1	-0.1	63.9 (63.9)	242.1	0.5	181.7	-3.1	75.1 (78.9)								
教育、学習支援業	384.7	-3.5	268.3	11.1	69.7 (60.6)	439.8	-3.6	326.1	14.2	74.1 (63.0)	320.9	-2.8	232.8	8.4	72.5 (64.7)								
医療、福祉	299.8	1.6	214.1	3.5	71.4 (70.0)	363.2	3.8	251.2	7.4	69.2 (66.8)	272.2	0.1	204.1	3.0	75.0 (72.8)								
サービス業(他に分類されないもの)	288.4	-2.1	218.1	5.0	75.6 (70.8)	304.5	-1.0	226.6	226.5	1.4	1.3	74.4	(71.0)	246.1	-4.0	209.0	5.8	84.9 (77.2)					

注： 1) () 内は、令和元年の数値である。
2) 対前年増減率は、令和2年と同じ推計方法で集計した令和元年の数値を基に算出している。詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

第7表 役職、性別賃金及び役職・非役職間賃金格差

令和2年

役職	男				女			
	賃金 (千円)	役職・非役職 間賃金格差 (非役職者=100)	年齢 (歳)	勤続 年数 (年)	賃金 (千円)	役職・非役職 間賃金格差 (非役職者=100)	年齢 (歳)	勤続 年数 (年)
部長級	601.7	201.7	52.9	22.3	520.5	209.8 209.7	52.2	18.2
課長級	499.0	167.3	48.5	20.6	443.1	178.6 178.5	49.0	18.5
係長級	381.7	128.0	44.8	17.9	337.3	136.0 135.9	45.7	16.4
非役職者	298.3	100.0	40.8	11.0	248.1 248.2	100.0	40.5	9.0

注： 役職に係る調査対象の詳細は、21頁「利用上の注意」を参照。

10頁 (9) 新規学卒者の学歴別にみた賃金【新規項目】

新規学卒者の賃金を学歴別にみると、男女計で大学院 255.6 千円、大学 226.0 千円、高専・短大 207.2 千円、専門学校 208.0 千円、高校 177.7 千円となっている。

<誤> <正>
207.2 202.2

第9表 新規学卒者の性、学歴別賃金

令和2年
(単位：千円)

性	大学院	大学	高専・短大	専門学校	高校
男女計	255.6	226.0	202.2 207.2	208.0	177.7
男	254.1	227.2	211.6	203.0	179.5
女	260.1	224.6	199.0 205.7	211.5	174.6

注： 令和元年まで公表していた「初任給額」と令和2年での「新規学卒者の賃金」については、どちらも新規学卒者に関する調査事項であるが、それぞれ、調査方法及び定義が以下のとおり異なっている。

(ア) 調査方法

○令和元年までの「初任給額」：事業所票の調査項目「初任給額」及び「採用人員」により調査

○令和2年からの「新規学卒者の賃金」：労働者に係る事項の調査項目「新規学卒者への該当性」により調査

(イ) 定義

○令和元年までの「初任給額」：所定内給与額より通勤手当を除いたもので、調査年の初任給額として確定したもの

○令和2年からの「新規学卒者の賃金」：新規学卒者の所定内給与額 (通勤手当を含む)

新規学卒者の賃金については、21頁「利用上の注意」を参照。

11 頁 2 短時間労働者の賃金 (1) 性別にみた賃金

短時間労働者の1時間当たり賃金は、男女計 1,414 円、男性 1,658 円、女性 1,323 円となっている。

<誤>	<正>
1,414	1,412
1,323	1,321

第 10 表 短時間労働者の性、年齢階級別 1 時間当たり賃金及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男女計			男			女		
	1 時間 当たり 賃金 (円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	年齢階級間 賃金格差 (20~24歳=100)	1 時間 当たり 賃金 (円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	年齢階級間 賃金格差 (20~24歳=100)	1 時間 当たり 賃金 (円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	年齢階級間 賃金格差 (20~24歳=100)
年齢計	<u>1,412</u> 1,414	<u>8.3</u> 8.4	<u>119.4</u> 119.5	1,658	2.9	139.3	<u>1,321</u> 1,323	<u>11.6</u> 11.7	<u>112.3</u> 112.5
～19歳	1,066	6.9	90.1	1,063	5.9	89.3	1,068	7.7	90.8
20～24	1,183	9.1	100.0	1,190	8.3	100.0	1,176	9.9	100.0
25～29	1,428	14.0	120.7	1,507	12.0	126.6	1,386	16.1	117.9
30～34	1,584	4.4	133.9	2,126	-4.9	178.7	1,410	9.8	119.9
35～39	1,624	8.8	137.3	2,364	-0.4	198.7	1,471	13.1	125.1
40～44	<u>1,501</u> 1,506	<u>8.1</u> 8.5	<u>126.9</u> 127.3	2,310	5.4	194.1	<u>1,379</u> 1,385	<u>9.2</u> 9.7	<u>117.3</u> 117.8
45～49	<u>1,466</u> 1,469	<u>9.4</u> 9.6	<u>123.9</u> 124.2	<u>2,117</u> 2,115	<u>-9.1</u> -9.2	<u>177.9</u> 177.7	<u>1,373</u> 1,376	<u>14.3</u> 14.6	<u>116.8</u> 117.0
50～54	<u>1,486</u> 1,491	<u>5.8</u> 6.2	<u>125.6</u> 126.0	2,367	-11.7	198.9	<u>1,357</u> 1,363	<u>12.6</u> 13.1	<u>115.4</u> 115.9
55～59	<u>1,471</u> 1,472	<u>6.5</u> 6.6	<u>124.3</u> 124.4	2,229	-11.8	187.3	<u>1,338</u> 1,339	<u>12.4</u> 12.5	<u>113.8</u> 113.9
60～64	1,436	3.7	121.4	1,900	-3.8	159.7	1,295	8.5	110.1
65～69	1,434	9.0	121.2	1,654	5.7	139.0	<u>1,299</u> 1,300	13.2	110.5
70～	1,431	9.7	121.0	1,669	12.4	140.3	1,250	8.3	106.3
年齢(歳)	45.9			43.7			46.8		
勤続年数(年)	6.0			5.2			6.3		
実労働日数(日)	14.7			13.6			15.1		
1日当たり所定内 実労働時間数(時間)	5.2			5.2			5.2		

注： 1) 令和元年調査までは、1時間当たり賃金が著しく高い一部の職種の労働者について集計対象から除いていたが、令和2年調査より短時間労働者全体を集計対象に含む調査方法に変更している。(詳細は、22頁「利用上の注意」5(3)集計・推計方法の変更参照。)
2) 対前年増減率は、令和2年と同じ推計方法で集計した令和元年の数値を基に算出している。詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

12 頁 (2) 企業規模別にみた賃金

企業規模別に1時間当たり賃金をみると、男性では、大企業 1,464 円、中企業 2,052 円、小企業 1,579 円、女性では、大企業 1,288 円、中企業 1,392 円、小企業 1,306 円となっている。

<誤>	<正>
1,292	1,288

第 11 表 短時間労働者の企業規模、性別 1 時間当たり賃金¹⁾及び企業規模間賃金格差

企業規模	男			女		
	1 時間 当たり 賃金 (円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	企業規模間 賃金格差 (大企業= 100)	1 時間 当たり 賃金 (円)	対前年 増減率 ²⁾ (%)	企業規模間 賃金格差 (大企業= 100)
大企業	<u>1,464</u>	4.1	100.0	<u>1,288</u> 1,292	<u>10.4</u> 10.7	100.0
中企業	<u>2,052</u>	2.2	140.2	<u>1,392</u>	11.8	<u>108.1</u> 107.7
小企業	<u>1,579</u>	3.1	107.9	<u>1,306</u>	13.3	<u>101.4</u> 101.1

注： 1) 令和元年調査までは、1時間当たり賃金が著しく高い一部の職種の労働者について集計対象から除いていたが、令和2年調査より短時間労働者全体を集計対象に含む調査方法に変更している。(詳細は、22頁「利用上の注意」5(3)集計・推計方法の変更参照。)
2) 対前年増減率は、令和2年と同じ推計方法で集計した令和元年の数値を基に算出している。詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

12 頁 (3) 主な産業別にみた賃金

主な産業別に1時間当たり賃金をみると、男性では、「医療、福祉」(3,807円)が、女性では「医療、福祉」(1,565円)が最も高くなっている。

<誤> <正>
 1,565 1,555

第12表 短時間労働者の主な産業、性別1時間当たり賃金及び産業間賃金格差

令和2年

性、主な産業		1時間 当たり賃金 (円)	対前年 増減率 ³⁾ (%)	産業間 賃金格差 (産業計=100)
男	産業計 ²⁾	1,658	2.9	100.0
	卸売業、小売業	1,160	6.9	70.0
	宿泊業、飲食サービス業	1,177	11.0	71.0
	教育、学習支援業	3,088	-3.8	186.2
	医療、福祉	3,807	-11.3	229.6
	サービス業(他に分類されないもの)	1,339	11.8	80.8
女	産業計 ²⁾	1,321	11.6	100.0
	製造業	1,204	17.9	91.1
	卸売業、小売業	1,156	11.2	87.5
	宿泊業、飲食サービス業	1,242	20.8	94.0
	医療、福祉	1,555	4.3	117.7
	サービス業(他に分類されないもの)	1,232	11.6	93.3

- 注： 1) 令和元年調査までは、1時間当たり賃金が著しく高い一部の職種の労働者について集計対象から除いていたが、令和2年調査より短時間労働者全体を集計対象に含む調査方法に変更している。(詳細は、22頁「利用上の注意」5(3)集計・推計方法の変更参照。)
- 2) 産業計には、上掲のほか、男女とも「鉱業、採石業、砂利採取業」「建設業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「運輸業、郵便業」「金融業、保険業」「不動産業、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「複合サービス事業」を含み、更に、男性では「製造業」、女性では「教育、学習支援業」を含む。
- 3) 対前年増減率は、令和2年と同じ推計方法で集計した令和元年の数値を基に算出している。詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

付表1 一般労働者の性別賃金、対前年増減率及び男女間賃金格差、対前年差の推移（昭和51年～）

年 ¹⁾²⁾	男女計		男		女		男女間賃金格差 (男=100)	対前年差 (ポイント)
	賃金 (千円)	対前年 増減率 ³⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ³⁾ (%)	賃金 (千円)	対前年 増減率 ³⁾ (%)		
昭和 51 (1976) 年	131.8	...	151.5	...	89.1	...	58.8	...
52 (1977)	144.5	9.6	166.0	9.6	97.9	9.9	59.0	0.2
53 (1978)	153.9	6.5	176.7	6.4	104.2	6.4	59.0	0.0
54 (1979)	162.4	5.5	186.3	5.4	109.9	5.5	59.0	0.0
55 (1980)	173.1	6.6	198.6	6.6	116.9	6.4	58.9	-0.1
56 (1981)	184.1	6.4	211.4	6.4	124.6	6.6	58.9	0.0
57 (1982)	193.3	5.0	222.0	5.0	130.1	4.4	58.6	-0.3
58 (1983)	199.4	3.2	229.3	3.3	134.7	3.5	58.7	0.1
59 (1984)	206.5	3.6	237.5	3.6	139.2	3.3	58.6	-0.1
60 (1985)	213.8	3.5	244.6	3.0	145.8	4.7	59.6	1.0
61 (1986)	220.6	3.2	252.4	3.2	150.7	3.4	59.7	0.1
62 (1987)	226.2	2.5	257.7	2.1	155.9	3.5	60.5	0.8
63 (1988)	231.9	2.5	264.4	2.6	160.0	2.6	60.5	0.0
平成 元 (1989) 年	241.8	4.3	276.1	4.4	166.3	3.9	60.2	-0.3
2 (1990)	254.7	5.3	290.5	5.2	175.0	5.2	60.2	0.0
3 (1991)	266.3	4.6	303.8	4.6	184.4	5.4	60.7	0.5
4 (1992)	275.2	3.3	313.5	3.2	192.8	4.6	61.5	0.8
5 (1993)	281.1	2.1	319.9	2.0	197.0	2.2	61.6	0.1
6 (1994)	288.4	2.6	327.4	2.3	203.0	3.0	62.0	0.4
7 (1995)	291.3	1.0	330.0	0.8	206.2	1.6	62.5	0.5
8 (1996)	295.6	1.5	334.0	1.2	209.6	1.6	62.8	0.3
9 (1997)	298.9	1.1	337.0	0.9	212.7	1.5	63.1	0.3
10 (1998)	299.1	0.1	336.4	-0.2	214.9	1.0	63.9	0.8
11 (1999)	300.6	0.5	336.7	0.1	217.5	1.2	64.6	0.7
12 (2000)	302.2	0.5	336.8	0.0	220.6	1.4	65.5	0.9
13 (2001)	305.8	1.2	340.7	1.2	222.4	0.8	65.3	-0.2
14 (2002)	302.6	-1.0	336.2	-1.3	223.6	0.5	66.5	1.2
15 (2003)	302.1	-0.2	335.5	-0.2	224.2	0.3	66.8	0.3
16 (2004)	301.6	-0.2	333.9	-0.5	225.6	0.6	67.6	0.8
17 (2005)	302.0	0.1	337.8	1.2	222.5	-1.4	65.9	-1.7
18 (2006)	301.8	-0.1	337.7	0.0	222.6	0.0	65.9	0.0
19 (2007)	301.1	-0.2	336.7	-0.3	225.2	1.2	66.9	1.0
20 (2008)	299.1	-0.7	333.7	-0.9	226.1	0.4	67.8	0.9
21 (2009)	294.5	-1.5	326.8	-2.1	228.0	0.8	69.8	2.0
22 (2010)	296.2	0.6	328.3	0.5	227.6	-0.2	69.3	-0.5
23 (2011)	296.8	0.2	328.3	0.0	231.9	1.9	70.6	1.3
24 (2012)	297.7	0.3	329.0	0.2	233.1	0.5	70.9	0.3
25 (2013)	295.7	-0.7	326.0	-0.9	232.6	-0.2	71.3	0.4
26 (2014)	299.6	1.3	329.6	1.1	238.0	2.3	72.2	0.9
27 (2015)	304.0	1.5	335.1	1.7	242.0	1.7	72.2	0.0
28 (2016)	304.0	0.0	335.2	0.0	244.6	1.1	73.0	0.8
29 (2017)	304.3	0.1	335.5	0.1	246.1	0.6	73.4	0.4
30 (2018)	306.2	0.6	337.6	0.6	247.5	0.6	73.3	-0.1
令和 元 (2019) 年	307.7	0.5	338.0	0.1	251.0	1.4	74.3	1.0
※令和 元 (2019) 年 ³⁾	306.0	...	336.1	...	249.8	...	74.3	...
2 ³⁾ (2020)	307.7	0.6	338.8	0.8	251.8 251.9	0.8	74.3 74.4	0.0 0.1

注： 1) 10人以上の常用労働者を雇用する民営事業所に関する集計は、昭和51年以降行っている。

2) 平成30年以前は、調査対象産業「宿泊業、飲食サービス業」のうち「バー、キャバレー、ナイトクラブ」を除外している。

3) 令和2年より推計方法を変更しているため、令和2年の対前年増減率及び対前年差(ポイント)は、同じ推計方法で集計した令和元年の数値を基に算出している。詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

※令和元(2019)年は、令和2年と同じ推計方法で集計した令和元年の数値を参考として掲載したものである。

付表3 一般労働者の賃金階級、性、企業規模別労働者割合

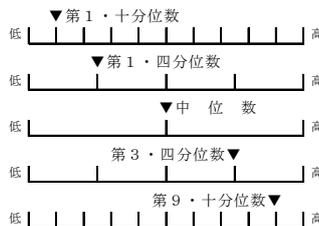
令和2年

賃金階級	男女計				男				女			
	企業規模計	大企業	中企業	小企業	企業規模計	大企業	中企業	小企業	企業規模計	大企業	中企業	小企業
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
～ 99.9 (千円)	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4
100.0 ～ 119.9	0.4	0.3	0.3	0.6	0.2	0.1	0.2	0.3	0.7	0.6	0.6	1.1
120.0 ～ 139.9	1.1	0.9	1.0	1.4	0.6	0.3	0.6	0.7	2.0	1.9	1.7	2.5
140.0 ～ 159.9	3.6	2.6	3.6	4.7	2.0	1.1	2.3	2.7	6.3	5.3	5.9	8.2
160.0 ～ 179.9	6.2	5.0	6.5	7.3	3.9	2.8	4.5	4.7	10.3	9.0	9.8	12.3
180.0 ～ 199.9	7.8	6.4	8.0	9.3	5.6	4.3	5.9	6.7	11.9	10.4	11.5	14.1
200.0 ～ 219.9	9.5	8.6	9.8	10.1	7.6	6.3	8.1	8.4	12.8	12.7	12.6	13.3
220.0 ～ 239.9	9.5	8.6	9.9	10.0	8.3	7.3	8.7	9.0	11.5	10.9	11.9	11.8
240.0 ～ 259.9	8.9	8.0	9.3	9.6	8.4	7.2	8.6	9.6	9.8	9.5	10.3	9.5
260.0 ～ 279.9	7.8	7.4	8.1	7.8	7.8	7.0	8.0	8.3	7.8	8.1	8.3	6.9
280.0 ～ 299.9	6.5	6.0	6.6	6.9	6.8	6.0	6.7	7.8	5.9	6.1	6.3	5.2
300.0 ～ 319.9	5.7	5.2	5.7	6.2	6.4	5.5	6.3	7.5	4.5	4.7	4.8	3.8
320.0 ～ 339.9	4.7	4.7	4.7	4.5	5.4	5.3	5.3	5.6	3.3	3.7	3.7	2.5
340.0 ～ 359.9	4.0	4.0	3.9	4.1	4.8	4.6	4.6	5.2	2.5	3.0	2.7	1.9
360.0 ～ 399.9	6.2	6.9	5.8	5.9	7.7	8.2	7.2	7.7	3.4	4.4	3.3	2.5
400.0 ～ 449.9	5.6	6.8	5.1	4.8	7.3	8.5	6.7	6.5	2.6	3.5	2.5	1.8
450.0 ～ 499.9	3.7	4.7	3.5	2.7	4.9	6.2	4.8	3.7	1.4	2.0	1.3	0.9
500.0 ～ 599.9	4.3	6.0	4.2	2.4	6.0	8.2	5.9	3.3	1.3	1.8	1.3	0.8
600.0 ～ 699.9	2.2	3.8	1.8	0.8	3.0	5.3	2.5	1.0	0.6	1.0	0.5	0.2
700.0 ～ 799.9	1.1	2.0	0.8	0.3	1.5	2.8	1.1	0.4	0.3	0.5	0.3	0.1
800.0 ～ 899.9	0.5	0.9	0.4	0.2	0.7	1.3	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
900.0 ～ 999.9	0.3	0.5	0.2	0.1	0.4	0.7	0.3	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0
1000.0 ～ 1199.9	0.3	0.4	0.3	0.1	0.4	0.5	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0
1200.0 ～	0.3	0.4	0.4	0.2	0.5	0.5	0.6	0.3	0.1	0.2	0.1	0.0
平均値 (千円)	307.7	338.4	302.6	278.0	338.8	377.1	331.7	302.4	251.8	251.9	266.4	232.9
第1・十分位数 (千円)	175.9	184.0	175.4	169.2	191.7	204.8	188.1	184.1	161.4	164.9	163.4	155.6
第1・四分位数 (千円)	212.2	222.8	211.1	202.9	232.0	247.8	227.5	222.8	189.2	195.5	191.9	180.7
中位数 (千円)	267.2	287.1	263.4	253.5	296.2	328.2	288.3	278.6	229.5	238.1	232.6	217.0
第3・四分位数 (千円)	356.6	402.9	346.8	323.9	397.4	453.8	386.5	353.1	284.5	300.7	285.9	264.8
第9・十分位数 (千円)	482.7	559.6	470.3	410.5	530.5	617.4	515.8	440.7	360.9	393.9	356.6	326.6
十分位分散係数	0.57	0.65	0.56	0.48	0.57	0.63	0.57	0.46	0.43	0.48	0.42	0.39
四分位分散係数	0.27	0.31	0.26	0.24	0.28	0.31	0.28	0.23	0.21	0.22	0.20	0.19

注：1) 分位数とは、分布の形を示す値である。具体的には、該当労働者を賃金の低い者から高い者へと一列に並べたとき、以下の説明内容に該当する者の賃金である。

図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 低い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金
- 第1・四分位数 …… 低い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 中位数 …… 低い方（あるいは高い方）から数えて全体の2分の1番目に該当する者の賃金
- 第3・四分位数 …… 高い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 第9・十分位数 …… 高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金



2) 分散係数は、分布の広がりを示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。一般に、その値が小さいほど分布の広がりが小さいことを示す。

○ 十分位分散係数 = $\frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$

○ 四分位分散係数 = $\frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$

付表4 短時間労働者の1時間あたり賃金階級、性、企業規模別労働者割合

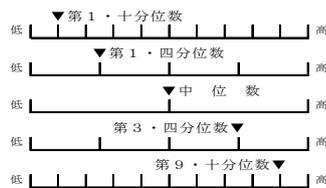
令和2年

1時間あたり賃金階級	男女計				男				女						
	企業規模計		大企業	中企業	小企業	企業規模計		大企業	中企業	小企業	企業規模計		大企業	中企業	小企業
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
～ 599 (円)	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	
600～649	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	
650～699	0.1	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	
700～719	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	
720～739	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	
740～759	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
760～779	0.2	0.1	0.2	0.3	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.3	
780～799	0.8	0.4	0.7	1.5	0.6	0.3	0.6	1.1	0.9	0.9	0.4	0.7	1.6	1.6	
800～819	1.1	0.7	1.0	1.9	0.9	0.6	0.7	1.5	1.2	0.7	1.2	2.0	2.0	2.0	
820～839	1.5	0.9	1.6	2.3	1.3	0.8	1.4	2.1	1.5	0.9	1.6	2.4	2.4	2.4	
840～859	2.4	1.5	2.4	3.7	2.1	1.5	2.2	3.2	2.5	1.6	2.5	3.9	3.9	3.9	
860～879	2.8	2.1	2.9	3.6	2.4	1.9	2.3	3.1	2.9	2.1	3.1	3.8	3.8	3.8	
880～899	2.8	2.1	3.0	3.7	2.3	2.0	2.4	2.8	3.0	2.2	3.2	4.0	4.0	4.0	
900～949	10.3	8.6	11.2	11.9	9.2	7.9	10.9	9.5	10.7	8.9	8.8	11.3	12.7	12.7	
950～999	10.9	11.4	10.1	10.8	9.6	10.4	8.5	9.4	11.4	11.7	10.8	11.3	11.3	11.3	
1,000～1,049	12.9	13.3	11.4	13.7	12.5	13.1	10.5	13.4	13.1	13.4	11.8	13.8	13.8	13.8	
1,050～1,099	9.1	11.1	4.2	8.2	7.1	9.2	11.3	7.5	9.1	11.1	8.4	6.9	6.9	6.9	
1,100～1,149	7.3	7.4	8.8	6.4	6.1	7.5	8.8	6.5	6.6	7.3	8.7	8.8	6.4	5.9	
1,150～1,199	5.3	6.6	5.0	3.8	5.2	6.5	4.6	3.9	5.4	6.6	5.2	3.8	3.8	3.8	
1,200～1,299	7.9	9.5	7.4	6.0	8.2	9.5	7.6	6.9	7.7	9.5	7.3	5.6	5.6	5.6	
1,300～1,399	4.8	5.3	4.8	4.0	4.8	5.5	4.6	4.1	4.7	5.2	4.9	3.9	3.9	3.9	
1,400～1,499	3.2	3.4	3.4	2.9	3.2	3.2	3.3	3.0	3.3	3.4	3.5	2.8	2.8	2.8	
1,500～1,599	2.8	2.8	3.0	2.6	2.6	2.3	2.7	3.0	2.8	2.9	3.1	2.4	2.4	2.4	
1,600～1,799	3.4	2.9	4.1	3.4	3.5	3.3	3.4	3.8	3.4	2.8	4.3	3.3	3.3	3.3	
1,800～1,999	2.1	1.8	2.5	2.1	2.1	1.7	2.4	2.5	2.1	1.9	2.6	2.0	2.0	2.0	
2,000～2,199	1.4	1.1	1.7	1.7	1.6	1.1	2.1	2.0	1.4	1.1	1.6	1.6	1.6	1.6	
2,200～2,399	0.9	0.7	1.0	1.0	1.0	0.8	1.2	1.1	0.9	0.7	1.0	1.0	1.0	1.0	
2,400～	5.5	4.6	7.3	5.2	9.2	6.9	13.5	8.5	4.1	3.7	5.0	4.0	4.0	4.0	
平均値(円)	1,412	1,414	1,336	1,329	1,571	1,378	1,658	1,464	2,052	1,579	1,321	1,323	1,288	1,292	
第1・十分位数(円)	885	911	884	858	895	915	895	866	909	882	909	881	855	855	
第1・四分位数(円)	962	986	957	931	977	996	970	953	957	983	953	925	925	925	
中位数(円)	1,071	1,088	1,080	1,035	1,094	1,094	1,099	1,114	1,068	1,062	1,084	1,069	1,026	1,026	
第3・四分位数(円)	1,288	1,289	1,274	1,275	1,359	1,264	1,362	1,299	1,510	1,369	1,270	1,265	1,318	1,231	
第9・十分位数(円)	1,797	1,679	1,680	2,005	1,806	2,233	1,861	1,860	3,358	2,151	1,710	1,613	1,614	1,718	
十分位分散係数	0.43	0.35	0.52	0.46	0.63	0.43	1.11	0.60	0.39	0.32	0.43	0.42	0.42	0.42	
四分位分散係数	0.15	0.13	0.19	0.16	0.18	0.14	0.24	0.20	0.15	0.13	0.17	0.15	0.15	0.15	

注：1) 百分数とは、分布の形を示す値である。具体的には、該当労働者を賃金の低い者から高い者へと一列に並べたとき、以下の説明内容に該当する者の賃金である。

図示すれば下図のとおりである。

- 第1・十分位数 …… 低い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金
- 第1・四分位数 …… 低い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 中位数 …… 低い方(あるいは高い方)から数えて全体の2分の1番目に該当する者の賃金
- 第3・四分位数 …… 高い方から数えて全体の4分の1番目に該当する者の賃金
- 第9・十分位数 …… 高い方から数えて全体の10分の1番目に該当する者の賃金



2) 分散係数とは、分布の広がり(ばらつき)を示す指標の一つであり、次の算式により計算された数値をいう。一般に、その値が小さいほど分布の広がり(ばらつき)の程度が小さいことを示す。

○ 十分位分散係数 = $\frac{\text{第9・十分位数} - \text{第1・十分位数}}{2 \times \text{中位数}}$ ○ 四分位分散係数 = $\frac{\text{第3・四分位数} - \text{第1・四分位数}}{2 \times \text{中位数}}$

23頁 7 (2) 短時間労働者の1時間あたり賃金の推移

<誤> <正>

(単位：千円) (単位：円)

24頁 8 令和元年調査及び令和2年調査について、集計要件を満たさない労働者を含めた一般労働者の特別集計を行った結果は以下のとおり。

産業	令和2年			令和元年 ¹⁾		
	賃金 ²⁾ (千円)	労働者数 ²⁾ (十人)	集計要件を満たさない労働者割合 ³⁾ (%)	賃金 ²⁾ (千円)	労働者数 ²⁾ (十人)	集計要件を満たさない労働者割合 ³⁾ (%)
産業計	299.7	3,209,616	13.9	304.3	3,004,137	1.4
鉱業、採石業、砂利採取業	336.2	1,257	4.8	322.6	1,242	1.1
建設業	329.7	198,303	7.0	333.6	204,788	1.0
製造業	293.9	700,512	18.6	292.5	678,044	1.1
電気・ガス・熱供給・水道業	400.1	16,249	10.8	415.4	18,246	0.8
情報通信業	380.7	146,072	13.4	378.4	134,016	1.3
運輸業、郵便業	270.0	251,007	14.9	277.5	236,781	1.7
卸売業、小売業	298.1	518,277	12.3	311.6	473,599	1.2
金融業、保険業	365.4	118,926	9.2	361.4	115,184	2.2
不動産業、物品賃貸業	329.1	54,235	12.6	320.4	47,427	1.2
学術研究、専門・技術サービス業	384.3	114,589	10.0	382.9	108,456	1.2
宿泊業、飲食サービス業	231.6	97,746	30.6	246.9	91,656	1.8
生活関連サービス業、娯楽業	250.4	83,572	26.8	261.8	66,113	1.4
教育、学習支援業	361.3	87,294	8.8	377.0	82,259	2.0
医療、福祉	286.2	481,256	6.6	282.5	444,665	1.7
複合サービス事業	289.5	35,161	7.8	297.6	37,711	1.3
サービス業(他に分類されないもの)	254.4	305,163	17.7	262.6	263,951	2.2

注：1) 令和元年は、令和2年と同じ推計方法で集計した数値である。

2) 賃金及び労働者数は、集計要件(①～③)を満たさない労働者を含むすべての一般労働者について集計したものである。

詳細は、20頁「利用上の注意」を参照。

①実労働日数が18日以上 ②1日当たり所定内実労働時間が5時間以上 ③5万円以上の賃金

3) 集計要件を満たさない労働者割合とは、2)の労働者数のうち上記①～③のいずれかを満たさない者の割合をいう。